

地域防災を効果的に推進するために必要な  
男女共同参画の視点について

～ご意見～

委員名 佐藤 理絵

- 地域防災に男女共同参画の視点を生かすためには、家庭、地域、職場における地道な意識改革の取り組みが何より重要ですが、これは長期的な取り組みと言えます。即効性のある取り組みとして、地域社会や職場、行政などあらゆる場で男女共同参画防災の仕組み（組織体制、マニュアル、活動方法など）をつくる工夫をすべきと考えます。
- 小中高校での防災教育に男女共同参画の視点を入れることが重要だと思います。
- 市役所内でも男女共同参画の視点による防災復興を検討する全庁横断的な組織が必要ではないでしょうか。
- 市民協働＝NPOや地域組織と行政とが積極的に連携し、その中で多様な人が参画できる仕組みづくりを進めるのがいいと考えます。
- 地域における女性リーダーの育成は、女性であればいいというわけではありません。男女共同参画の視点を持ち、人権、多様性を尊重できるリーダーを育成することが重要です。
- 多様なニーズに対応し、支援を生かすことのできる「受援力」の育成も必要ではないでしょうか。多様な視点を生かした地域防災につながるはずです。
- 防災マニュアルづくりや避難所のイメージデザインなどのワークショップ、ゲームをできるだけ多くの地域単位で実施していく。これは誰もが暮らしの感覚を持てる人育て、多様性を包括できる地域社会づくりに非常に有効だと考えます。この実施には行政の支援が必要でしょう。